こどもがこどもでいられる社会を

PIECES

2022年中間レポート

PIECES ではこれまで、年度ごとに活動をまとめたアニュアルレポートを毎年 1 月に発行していました。この度、事業年度の変更に伴い、次回アニュアルレポートの発行を 2023 年 6 月頃に予定しているため、今回は中間レポートという形で、2022 年度上半期の活動についてご報告いたします。

ひとり一人の尊厳が大切にされる社会

世界中の人たちが、自分たちの手元から生まれたまちの風景を共有し合いながら、一人の人としてつながりあう水平に広がる世界を行き来する。

まちに生まれたみんなの森で子どもたちが遊び、みんなで関わり合って育てた土の中の虫を発見し、そこから生まれた野菜を手に取る。

まちの風景が、世界の風景が、みんなの願いと重なりながら変わっていく。

市民性が満ち、「共に生きる知恵と実践」がまちの、世界のあちこちで生まれ、共有され、広がっている。

全ての人の暮らしに尊厳が満ちて、権利が尊重される、そんな願いがバトンのように渡されながら、あちこちで実践が営まれている。

私たち一人ひとりの持つ市民性は、日々の暮らしの、ちょっとした声かけや眼差しに、公共空間のあり方に、制度の作られ方に、技術の使い方や倫理に、あちこちに影響し、文化を醸成していきます。

いつも子どもの周りから優しい間を共に耕し広げてくださるその一つ一つが、社会の変化の方向性をつくっています。

子どもたちが孤立して社会のことを信頼できなくなる、そんな明日より、私たち一人ひとりの市民性から生まれた想像力が広がり、生きとし生きる人たちの尊厳が大切にされていく、そんな明日の風景を、これからも一緒につくっていきたいと強く思っています。

PIECES 代表理事
小澤いぶき

新たなフェーズへ

いつも PIECES の活動に関心を寄せ、応援・協力を頂き本当にありがとうございます。

PIECES では、これまで事業年度の期首を 11 月としておりましたが、2022 年度から 4 月期首へと変更し、決算月が 3 月となりました。それに伴い、毎年 1 月に発行していたアニュアルレポートの次回発行が 2023 年 6 月頃とだいぶ期間が空いてしまうため、その間の事業活動や組織の様子をお伝えしたいという想いで今回の中間レポートを作成いたしました。

さて、今年度ですが、PIECES にとっては大きなトランジションの入口に差し掛かった大事な年と位置づけています。

事業面では、これまで約 6 年に渡って開発を進めてきた「Citizenship for Children 事業（CforC）」が、昨年までの取り組みをもっておおよそ開発フェーズを完了。今年度以降は普及・発展フェーズへと移行を進め、CforC を「PIECES による取組」から「各地の団体や機関、自治体等との協力・共創による取組」へと変容させていこうと考えています。

また、組織面でも、運営に関わるメンバーの関わり方や個々のミッションが多様化する中で、個と組織が創造的に動ける体制を模索し始めているところです。

2023 年には認定 NPO 法人格の更新も控えています。今後もよりオープンな事業運営、組織運営に励んでいきたいと思いますので、これからも皆さんと対話を重ねながら、ともに PIECES の活動を進めていければ幸いです。

PIECES 理事・事務局長
斎　典道

「わたしらしく子どもに関わりたい」と願う市民向けに行う、
市民性醸成プログラム「Citizenship for Children(CforC)」

Citizenship for Children とは

『市民性』を起点に、自分らしいあり方を探求・実践するプログラムです。ひとりひとりが自分らしい市民性を醸成し、行動できるようになることで、子どもと自分、地域のwell-being をつくります。
※『市民性』=「自分にできることで子どもや地域・社会と関わりたい」という心の灯火。

プログラムはオンラインにて実施していますが、一部自主ゼミのみ、対面で開催されました。

2022 年度は、みつめるコース、うけとるコース、はたらきかけるコースの3つを実施しています。基礎編となるみつめるコースは 7 月 ~9 月に実施。山形 ~ 沖縄まで日本各地から集まった 30 名のメンバーで学び合いました。

7 月は『子どもの願いを真ん中に、お互いの想いや価値観を知る』に焦点を当て、子どもの発達とこころのケアについてPIECES 代表・児童精神科医の小澤いぶきから話を聞き、ワークでお互いのストレングスや価値観をみつめました。

8 月は『支援ではなく「こころで応える」「関わる」ことの大切さを頭と心、身体で理解する』に焦点を当て、NPO 法人ビーンズふくしまの山下仁子さんから活動で出会った子どもの話を聞き、ワークで自己覚知に触れました。

9月は『市民としてできることを探求する』に焦点を当て、プレーワーカーの神林俊一さんから震災後の気仙沼における遊び場づくりの話を聞き、ワークでは自分らしい市民性のVISIONを探りました。

10 月からはうけとるコース、はたらきかけるコースがスタート。各コースの様子は次回の報告書に加え、随時 CforC の Twitter や HP で更新していきます。

また、今期後半からは、CforC プログラムの普及・発展を目指して、新たに「CforC コンソーシアム」の立ち上げに着手します。これは、CforC を「PIECES による取り組み」から「各地の団体や機関、自治体等との協力・共創による取り組み」へと変容させるチャレンジであり、他団体や他セクターを巻き込んだ形でのコレクティブ・インパクトの実現を図ります。この取組に対しては、「トヨタ財団国内助成プログラム」による 3 年間の助成も決定し(2022 年 11 月開始)、開発から普及・発展へと着実に歩みを進め始めています。

それぞれの「こころで応えてもらった経験」を基に、対話をしました。

参加者の声

安心安全な場をつくり出すことの大切さ、実際にどういう場が安全もしくは安全でないと感じるのか、その点の解釈の幅を広げることができました。

実際のワークでは、自分とは異なる観点が沢山でてきて、一つの事例をさまざまなレンズで見ることができたなと思います。

これまでの私は、無意識に子どもの支援に何らかの結論や広義的な正解のようなものを導きだそうとしていた。だが、もっと自然でよい、ひとりの人間として子どもたちと共にいるだけでよいのだ、と思えるようになった。

市民性を耕す、広報・啓発活動

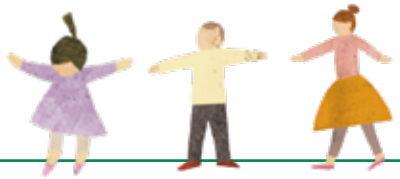
- Cultivate Citizenship -

2022 年 6 月に PIECES は 6 周年を迎えました。6 周年寄付キャンペーンでは、185 名の方から 180 万円を超えるご寄付が寄せられ、寄付という形で PIECES と共に優しい間を広げてくださることを大変心強く感じました。改めて感謝申し上げます。

特別トークセッションでは、NO YOUTH NO JAPAN の能條桃子さん、評論家の荻上チキさんをお招きし、私たちが生きやすい社会とはなにか、市民性をキーワードに深めました。

問いを贈ろう展示会では、来場者の皆さまと共に「市民性」を体感する時間となりました。

CforC 修了生の活動を紹介する HIPAHIPA。「大人がふらっと立ち寄れる」をテーマに、記事やオンライン配信を通じて紹介しました。



啓発事業として昨年に続いて実施した「問いを贈ろうキャンペーン」では、キャンペーンをきっかけに PIECES を知ってくださった方も多く、昨年の 3 倍となる 6,523 件ものアクションが生まれました。「問い」を通じて想像すること、その想像力の先に、誰もが大切にされる社会があると私たちは信じています。私たちの目指す社会をみなさんと一緒に広げていく営みを、これからも続けていきます。

政策提言活動においては、代表理事の小澤いぶきがこども家庭庁設立準備室のアドバイザーに就任。子どもが尊厳を持つ一人の人として、その権利が大切にされる仕組みと文化醸成へ貢献していきます。

「自分を見つめる」
「まわりを見つめる」
「世界を見つめる」
をテーマに、
今年は 20 個の
問いを贈りました。

一緒に活動を広げてくださった企業・団体のみなさま

アイオイクス株式会社
Hariqua

SMBCグループ
ライジング基金

Colere
株式会社コレル

CBGM
CBグループマネジメント株式会社

TAKEMURA
株式会社竹村コーポレーション

Harch
ハーチ株式会社

BIPROGY
BIPROGYグループ
社会貢献クラブ「ユニハート」

※50 音順、敬称略　※今年一定額以上のご支援をいただいた企業、団体さまを掲載しております

2021 年度活動計算書

（2021 年 11 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで）

科目			金額	
			2020年11月～2021年10月	2021年11月～2022年3月
経常収益	受取会費		0	0
	受取寄附金		17,890,261	10,294,866
	受取助成金等		9,210,774	6,708,000
	事業収益		9,707,605	2,758,500
	その他収益		178	52
経常収益計			36,808,818	19,761,418
経常費用	1）事業費			
		人件費	14,546,578	7,037,567
		その他経費	26,936,963	4,436,120
		事業費計	41,483,541	11,473,687
	2）管理費			
		人件費	2,429,938	1,094,926
		その他経費	3,903,644	1,407,420
		管理費計	6,333,582	2,502,346
経常費用計			47,817,123	13,976,033
当期経常増減額			-11,008,305	5,785,385
経常外収益			0	0
経常外費用			0	400,414
当期経常外増減額			0	-400,414
税引前当期正味財産増減額			-11,008,305	5,384,971
法人税、住民税及び事業税			0	0
前期繰越正味財産額			37,363,319	26,355,014
次期繰越正味財産額			26,355,014	31,739,985

事業年度の変更に伴い、2021 年度は 2021 年 11 月～ 2022 年 3 月の「5 か月間」で決算を行い、東京都への届出を行いました。
経常収益では、寄付金の占める割合が 5 割超を占めています。PIECES メイトからの月額の寄付に加え、法人様からの継続的な大口寄付もいただくことができました。
経常費用については、事業活動に直接関わる役員・スタッフの人件費や業務委託費が中心となっており、全体的な傾向としては例年と大きな変化は生じていません。
当期経常増減額は 5,785,385 円で、2022 年度に 31,739,985 円を繰り越していますが、これにより CforC 事業の普及・発展のための取組を加速させていきたいと考えています。

PIECES の活動を応援してください

PIECES メイト募集中！

毎月 1,000 円からのご寄付を通じて、
PIECES の活動を応援する制度です。
寄付者限定オンラインスペース
「Piece for Peace（PforP）」にご参加頂けます！

読み終えた本、ありませんか？

本、DVD、CD、ゲームソフトなどが
PIECES の活動を支える寄付になります。
未使用切手・ハガキ、金券類の同封も大歓迎！

こどもがこどもでいられる社会を
PIECES

認定 NPO 法人 PIECES
東京都文京区本郷 3-40-10 三翔ビル本郷 7F 小野田高砂法律事務所内　social hive HONGO
ホームページ　https://www.pieces.tokyo/
twitter：@PIECES_Tokyo ，@cforc_pieces ／ facebook：pieces.tokyo ／ Instagram：pieces_npo